

平成 22 年 4 月 30 日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19390571

研究課題名（和文） 地域看護における体系的倫理教育ラダーの開発と評価

研究課題名（英文） Development and Evaluation of Ethical Education in Community Health Nursing

研究代表者

麻原 きよみ（ASAHARA KIYOMI）

聖路加看護大学・看護学部・教授

研究者番号：80240795

研究代表者の専門分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学、地域・老年看護学

キーワード：地域看護学、看護倫理

### 1. 研究計画の概要

本研究の目的は、地域看護職（保健師と訪問看護師）の実践における倫理能力育成のための体系的倫理教育ラダーを開発することである。この目的を達成するために、以下の3ステップで研究を行なう計画である。

- (1)保健師・訪問看護師の経験年数別専門職倫理観の発達過程および経験年数別遭遇頻度の高い倫理的問題に関する調査、その結果に基づく暫定的倫理教育ラダーと倫理教育プログラムの開発（平成 19-20 年度）
- (2)経験年数別プログラムの試行と評価（平成 21 年度）
- (3)プログラムと体系的倫理教育ラダーの修正（平成 22 年度）

### 2. 研究の進捗状況

地域看護職（保健師と訪問看護師）の実践における倫理能力育成のための体系的倫理教育ラダーを開発することを目的とし、以下のように研究を進めた。

平成 19 年度は、専門職倫理観の発達過程と遭遇頻度の高い倫理的問題を明らかにするための文献検討を進め、新人保健師 15 名を対象とした倫理教育プログラムを試行した。その結果、自己の内省や価値の多様性の認識、職業アイデンティティの再認識と責任の自覚、今後の対応の再考などの介入効果が得られた。また新人保健師の特徴として、本プログラムを通じた日常の自身の葛藤の根源への気づき、専門職には倫理的な視点が不可欠である等の気づきが見られた。これらから新人保健師への本プログラムの有用性と適用可能性が示された。さらに保健師・訪問看護師 16 名を対象に、経験年数別の倫理的

課題とその対応についてインタビューを行なった。

平成 20 年度は、文献検討やインタビュー調査の分析結果ならびに米国にて得た専門的知識に基づき、経験年数別の実践における倫理能力の発達過程、遭遇頻度の高い倫理的問題とその対応に関する質問紙を作成し、層化抽出法にて全国の保健師および訪問看護師を対象に質問紙調査を実施した。

平成 21 年度は、保健師 3409 名、訪問看護師 1795 名の質問紙調査データを統計的に解析し、実践における倫理能力の構成要素を明らかにした。これらの構成要素や遭遇する倫理的問題、職業的倫理能力に関連すると考えられる学習および支援体制について、経験年数と職位による違いを分析し、その結果およびこれまでの調査結果に基づき、体系的倫理教育ラダーの検討を行なった。

また新人保健師 46 名および経験 15 年以上の保健師 35 名を対象に、ナラティブを用いた倫理教育プログラムを試行し、プログラム実施前後で教育目標達成度および倫理的感受性等に関する質問紙調査を実施し、その結果からプログラム内容の検討を行なった。

### 3. 現在までの達成度

当初の計画以上に進展している。

（理由）当初の計画に基づき、順調に研究を遂行している。時期的および成果的にも計画以上に研究を進めることが出来ている。

また、これまでの研究成果について、国内および海外の学会にて積極的に発表を行なっている点も評価できる。

#### 4. 今後の研究の推進方策

本研究計画の最終年度である平成 22 年度は、これまでの調査結果およびプログラム試行結果から、体系的倫理教育ラダーの検討と倫理教育プログラムの修正を行なう予定である。地域看護職の経験年数および職位の段階ごとの倫理教育の目的とその方法を検討し、各段階が有機的に連携した、継続的かつ体系的な体系的倫理教育ラダーを作成する。また、実践における倫理能力育成のための経験年数および職位別倫理教育プログラムを試行した評価結果に基づきプログラムを修正し、再度、試行・評価・修正を行なう。

また、本研究成果を国内および海外の学会および論文にて公表していく予定である。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計4件)

麻原きよみ、保健師は日常の活動のなかで倫理的ジレンマを感じている、保健師ジャーナル、64、144-148、2008、査読無

長江弘子、百瀬由美子、尾崎章子、4 ステップモデルを用いた倫理教育プログラムの展開方法、保健師ジャーナル、64、149-153、2008、査読無

[学会発表](計17件)

Maasa Kobayashi, Kiyomi Asahara, Yuko Hirano, Junko Omori, Akiko Ozaki, Toshie Miyazaki, Masako Sakai, Hiroko Nagae, Yumiko Momose, Emiko Konishi, Comparison of ethical dilemmas and coping patterns among Japanese Public Health Nurses by position and work experience, The 4<sup>th</sup> International Conference on Community Health Nursing Research, 2009年8月17日、オーストラリア・アデレード

Asahara K, Kobayashi M, Momose Y, Nagae H, Sakai M, Miyazaki T, Ozaki A, Omori J, Hirano Y, Konishi E, Supporting ethically sensitive practice: Development of an educational program for Japanese nurses working in communities, International Council of Nurses 24<sup>th</sup> Quadrennial Congress, 2009年7月1日、南アフリカ・ダーバン

麻原きよみ、百瀬由美子、酒井昌子、長江弘子、宮崎紀枝、尾崎章子、大森純子、小林真朝、平野優子、大金ひろみ、留目宏美、小西恵美子、訪問看護師の日常実践で遭遇する倫理的課題と対応 経験年数と職位による比較、第13回日本在宅ケア学会学術集会、2009年3月15日、大阪府堺市

大森純子、宮崎紀枝、長江弘子、酒井昌子、麻原きよみ、小林真朝、平野優子、尾崎章子、百瀬由美子、新人保健師を対象とした地域看護倫理教育プログラムの開発と評価 第1報：倫理的問題への対応に関する認識の変化、第11回日本地域看護学会学術集会、2008年7月5日、沖縄県那覇市 Akiko Ozaki, Yumiko Momose, Masako Sakai, Maasa Kobayashi, Kiyomi Asahara, Hiroko Nagae, Junko Omori, Maki Umeda, Toshie Miyazaki, Emiko Konishi, Evaluation of the ethics education program for home health nursing - the changes in the awareness of home health nurses and changes in MSQ -, The 1st Korea-Japan Joint Conference on Community Health Nursing, 2007年11月23日、韓国ソウル市 <Poster Awards受賞>